

## 《耕作放棄農地を利用したコケ植物の栽培プロジェクト》

市町村	山形市・酒田市	対象地域	山形市（楯山地区） 酒田市（八幡地区）	分野	園芸
実施主体名	株式会社モス山形	代表者氏名	代表取締役 山本正幸	住所又は主たる事務所の 所在地・連絡先	山形市松見町20-10
実施主体構成					

プロジェクト 目標（5年後）	産出額（増加額）	280,000千円（120,000千円）				
	独自の目標項目	コケ植物の栽培面積 山形市 60,000㎡→76,000㎡ 酒田市 0→4,000㎡				
各年次目標	現 状	1年目（H21）	2年目（H22）	3年目（H23）	4年目（H24）	最終年（H25）
	産出額	160,000千円	160,000千円	172,000千円	220,000千円	268,000千円
	独自の 目標項目	山形市 60,000㎡	山形市 68,000㎡	山形市 76,000㎡	山形市 76,000㎡	山形市 76,000㎡
		酒田市 0㎡	酒田市 2,000㎡	酒田市 4,000㎡	酒田市 4,000㎡	酒田市 4,000㎡
プロジェクト 概要	◎実施方針	コケ植物の栽培面積を拡大し、屋上（屋根）・壁面緑化市場の増加が見込まれ、その需要に対応したい。				
	○産出額の増大	コケ植物の栽培面積を拡大する。工場立地法制定・改正により屋上（屋根）・壁面でも緑地として認められるようになり、市場が大きくなることが見込まれ、緑化資材として加工し販売額を増加させる。				
	○雇用の創出	コケ植物の栽培は地元の人（農家等）を臨時に雇用して行う。また、軽作業のため、高齢者でも栽培・管理が可能であり、栽培面積の拡大によりさらに地元の農家を含む幅広い年齢層の雇用を創出することができる。また、農家所得アップにもつながり、農業の活性化に貢献することが出来る。将来は委託栽培も考えており、雇用の創出につなげたい。 H25:年間雇用創出効果（増加分）1,895人日/年				
	○創意工夫	コケ植物は乾燥に強く土壌を必要としないことから省管理で軽量（薄層）な緑化資材であり、既存の建物でも重量制限を受けずに、雨水の当たる場所であれば灌水も必要ないというその特性を活かし、緑化がなかなか進まない既存建物の屋上・屋根・壁面を緑化することができる。しかし、栽培に時間がかかることから、コケ緑化の価格が高くなっている。そのため、栽培の期間を短縮するため、植付け直後に遮光ネットをかけてコケが定着するまで、風によるコケの飛散を防ぎコケの生育を速める。また、コケ植物の栽培地として、多くの減反田・中山間地域の耕作放棄農地を活用できる。				

○実現性	<p>都市のヒートアイランド現象や、二酸化炭素の増加による地球温暖化問題が深刻化しており、その緩和対策として、建物の屋上（屋根）・壁面にコケ植物は施工されはじめている。都市部では緑化条例を制定する公共団体が増加しており緑化事業の拡大が見込まれる（東京・兵庫に続き大阪・京都が義務化）。官公庁の動向としては京都議定書に基づく温暖化防止・CO<sub>2</sub>削減等の環境整備の一環で官公庁を主体に官庁建物の緑化推進、緑化の研究・規制・指導の強化、補助・支援制度の充実等が進められている。</p> <p>東京の建築・建材展、環境展等の展示会に積極的に参加し、コケ緑化の特徴をPRする。</p> <p>現在、当社への問い合わせ・見積依頼、施工代理店からの話からも、1～4年以内にJR各社全体で3万㎡、自動車工場で10万㎡、食品・電子部品等の工場・倉庫で5万㎡のコケ緑化製品の出荷を見込んでいる。コンビニ関係からも問い合わせがきており、実現すれば大きな市場となる。実際に自動車工場でも本年700㎡の折板屋根緑化を施工し、断熱効果の実験を始めている。また、JR西日本・JR東日本の子会社の東鉄工業でも施工実験を行っている。</p>
○地域への波及効果	<p>コケ植物の生産には中山間地域が適しており、過疎化が問題になっている中山間地域の耕作放棄地でコケ栽培を行うことで、農地としての機能保全を維持する。</p>
○その他	<p>NHKニュース（おはよう日本）とTUY夢の扉でコケ緑化が紹介され多くの企業が見学に訪れ、見積依頼も多数きている。</p>

	実施年度（平成 21 年度）	実施年度（平成 22 年度）
事業計画	<p>事業内容</p> <p>山形農業協同組合は高楯地区で耕作放棄農地の解消を進めている。その農地を借りて、8,000㎡のコケ植物の栽培を行う。</p> <p>酒田市（八幡地区）2,000㎡のコケ植物栽培を行う。</p>	<p>山形市で8,000㎡のコケ植物の栽培を行う。</p> <p>21年度は山形県の緊急雇用対策創出事業の中で、八幡町重蔵地区の耕作放棄農地の活用しコケ栽培の実験を行うことになっており、その結果を見て問題点を解決しながら、酒田市（八幡地区）で2,000㎡コケの栽培を行う。</p>